

作曲家の大先輩、池辺晋一郎さんのたつた一言が、いつも私に大きなエネルギーを与えてくれる。

NHKの大河ドラマ「独眼竜政宗」の音楽の作曲や音楽番組「N響アワー」の司会者として、小学生の頃から憧れていった。初めてお会いしたのは、私が出光音楽賞を受賞した2014年だ。テレビ的印象のまま、30秒に1回は冗談を飛ばす。コンサートで自らピアノを演奏する私に「作曲家が演奏することはなかなかないから、新鮮でいいでしょ」と豪快に笑いかけてくださり、心強かつた。

お会いするたびに、私の作品に必ずコメントをしてくれる。「君の音楽は、音が生きているのがいい」というお言葉には感動した。直接師事したわけではないからこそ、一人の作曲家として私を見て、大局的なアドバイスをいただけるのがありがたい。

オーケストラ・アンサンブル金沢の座付き作曲家に選ばれたとき「金沢のおいしい店に連れて行ってあげる」と声をかけられた。初演の日、12時間後に米国でグラミー賞の授賞式を控えていた私は打ち上げに参加できず。いつかぜひ食事をご一緒したい。そのときには、大ファンとして聴いた大河ドラマの音楽制作について伺いたいと思っている。(はざま・みほ) ジャズ作曲家)

2020.11.26.録